



▲“山陽小野田青少年少女合唱団”はオープニングを飾り、「友だち」「ことば」「フレンズ」の3曲を披露。

## 青少年少女合唱祭

12月18日、「プレ国民文化祭・青少年少女合唱祭」が文化会館で開催されました。県内から集った9つの合唱団が特色あるステージを繰り広げる中、5月から毎週練習を積み重ねてきた“山陽小野田青少年少女合唱団”も初舞台を踏みしました。今橋朋実さん（厚狭小5年）・田辺悠莉さん・神田真斗佳さん（ともに同小4年）の3人は「初めは声が震えるくらい緊張したけど、やっぱり歌を歌うのは楽しいね。」と笑顔で話してくれました。



▲大正期の華やかさを今に伝える室内で、バロック音楽を演奏する岡本稔さんと小田部陽子さん。

## イルミネーションコンサート

12月17日、小野田セメント山手倶楽部でイルミネーションコンサートが開催されました。山手倶楽部は、国の文化財にも登録されている大正時代の近代建築。小野田リコーダーアンサンブルの出演に続き、岡本稔さんがバロックオーボエ、小田部陽子さんがチェンバロを演奏し、会場はひととき大正期の華やかさに包まれました。集まった約70人の聴衆は、しばし時を忘れ、バロックの旋律と古楽器の奏でる柔らかな音に耳を傾けました。

元気  
いっぱい!



## 厚狭中学校 新・生徒会執行部

12月9日、厚狭中学校で全校生徒の投票による生徒会役員選挙が行われ、2年生4人、1年生2人の計6人からなる新たな生徒会執行部が誕生しました。3名の候補者の中から生徒会長に選ばれた村上朋子さんは、旧生徒会でも副会長として、1年間その活動を支えてきた実績の持ち主。「まずは、目安箱を設置して広く生徒の意見を聞いてみたい」と2年目の生徒会活動に向け、気持ちも新たに語ってくれました。「明るく、楽しいところが良いところ」という厚狭中学校の問題点は、目下のところ登下校時の交通マナーなのだとか。今後は、生徒一人ひとりに交通マナーの向上を呼びかけたいと、問題の解消に向けても前向きです。

校内行事の企画から日常的な学校生活の中での問題解決まで、生徒会の活動は様々。「やるからには、私の足跡を残します。」とやる気十分の会長を中心に、新・生徒会執行部は、“学校生活をより良い、充実したものに”という目標にむけて、3学期から本格的な活動を開始します。



▲厚狭中学校の新・生徒会執行部のみなさん。  
左から：土田泰章くん（2年）、田邊亜実さん（1年）、村田真実さん（2年）、村上朋子さん（2年）、岡崎有里佳さん（2年）、西岡夏希さん（1年）